

## 【グループワーク】

### 職種間コラボで可能性を発掘しよう！直営体制だからできる職種間連携

#### 概要

現業職員は業務内容が多岐に渡るため、さまざまな職場を持ち、住民や利用者に地域公共サービスを提供しています。現業職場が地域社会の中にあり、住民の生活に密着していることから、行政の組織編成であるいわゆる「縦割り」とは全く無関係に展開している部分が多く見受けられます。

今後、住民ニーズが多様化、複雑化する中で、現業職場が持っている総合性を活かしていくことが住民から必要とされる現業職場であり、「職の確立」にも繋がります。さまざまな職種の組合員と意見交換し、現業職員の新たな可能性に気付くことを目的にグループワークを行います。

#### 進め方

各職種を混合したグループで自身の職種以外は「住民の立場」で気になることなどについて質問する一方で、自身の職種については、職員として質問に答えません。直営を基本とした現業職員が、横のつながりを活用し、付加価値のついた地域住民への新たな住民サービスができないのか？予算や縦割り行政、実現性などについては考慮せず、参加者からの多くの思い付きや意見を出し合ってください。

発表については、プロジェクターに映して行いますので、記録係はパソコンにデータを入れていますので、そこに入力してください。

ワークシート① 「職員と住民の立場から」

ワークシート② 「職種間コラボで可能性を発掘しよう！

直営体制だからできる職種間連携」